

最上クロスロード

国道47号 新庄古口道路通信

第24号 令和4年9月 発行

◆最上クロスロードについて◆

新庄市は、南北に国道13号と奥羽本線が縦断し、東西に横断する国道47号と陸羽東線、陸羽西線が交差することから、「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝として栄えてきました。現在、「新たなクロスロード」として国道13号泉田道路、新庄金山道路、金山道路、真室川雄勝道路と国道47号新庄古口道路、高屋道路を整備をすすめていることから「最上クロスロード」と題し、事業進捗や工事状況等を随時お知らせして参ります。

<ご意見・お問い合わせ先>国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設監督官室
〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2 (新庄国道維持出張所内)
TEL: 0233 (22) 1731、FAX: 0233 (22) 1731 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/shiniji/index.html>

鮭川橋(仮称)の見学会を行いました

9月20日(火)新庄古口道路で建設中の鮭川橋(仮称)にて、山形県建設技術センターの現場研修の一環で現場見学を行いました。山形県や市町村の関係者14名が参加し、根本監督官から現場に関する説明後、床版や鉄筋組立完了後の橋の上を実際に歩いて見学しました。



岩清水地区構造物工事

受注者：(株)柿崎工務所

工期：令和4年3月～令和4年11月

工事場所：最上郡戸沢村大字岩清水～戸沢村大字津谷 地内

主な工事：床版工 舗装工 橋梁附属物工

見学の様子



橋の床版の部分となるコンクリートのサンプルが4種類ありました。条件を変えて、この橋に最も良いコンクリートを選び、打設作業を行います。

床版コンクリートの締め固め等に施工状況管理システムを導入し、パイブレータの挿入位置や締め固め時間の見える化を図り施工を行っています。



橋の一部は下から見ると迫力があります！
普段は歩くことができないので貴重な体験です。→



現場での取り組み

こちらの現場では、コンクリート打設の際に「コードレス高周波パイブレータ」を使用しています。背負い式のバッテリーのため、パイブレータを操作する人員一人で作業が完結でき、省人化と作業性の向上が期待できます。

現場代理人さんより

今回の鮭川橋床版の施工については、施工前の勉強会を始め、試験施工を経て実際の現場の施工を行いました。現場従事者及び社内が一体となり、品質の良いコンクリートの施工を目標に取組んできましたので、最後まで無事故で現場を終えられるよう従事したいと思います。

至 新庄方面



至 庄内方面



見学時は床版鉄筋組立まで完了していました。現在はコンクリート打設まで完了しています。